

「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」に賛同する緊急アピール

全国の皆さん、都道府県知事・市区町村長の現職の皆さん、元職の皆さん。

安倍首相は9条を抹殺する改憲をめざし、今年中の国会発議に向けてナチスさながらに暴走を続けています。

日本国憲法は施行71年目にして、9条の存続をかけた歴史的空前の危機に直面しています。

日本の命運を決するこの期に及んで、人類の宝憲法9条を私たちの努力によって守り生かすことができこそ、試練に耐え抜いた9条はその真価を発揮し、後世まで燦然と光り続けるに違いありません。

同時に、人類の次の世代に後顧の憂いを残さないために、改憲の発議を止めるための苦難に満ちた戦いに勝利してこそ、私たちは現代に生きる歴史的使命を果たしたといえ、未来を切り拓くことができると確信します。

5年前の本会発足以来、私たちが反対を続けてきた安倍政権の戦争する国づくりは変わらず、安全保障関連法（戦争法）を成立させ、あまつさえ密告を奨励する平成の治安維持法ともいえるべき「共謀罪」法が加わり、さらに、巡航ミサイル、イージスアショア、空母型護衛艦の導入整備等々、自衛隊を軍隊にする準備は止まるところを知りません。

今や、安倍首相は、憲法9条に自衛隊を書込む改憲ばかりでなく、緊急事態や教育などの条項を改憲に盛り込むと詭弁を弄し、国民を欺こうとしています。これらの改憲案を発議させることは、戦争への道を邁進することに他ならず断じて許せません。

これに抗して「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」が、3,000万統一署名運動を展開しています。私たちはこれに全面的に賛同し、その達成に総力を挙げて取り組みます。

3,000万署名の完全達成こそが、改憲発議を阻止する最も有効な決め手になると信じます。

私たち「東北6県市町村長九条の会連合」は第5回総会を開き、このアピールを採択し、全国7,000を超える「九条の会」と手を携え、「市民と野党共闘」を実現させ、安倍首相の9条改憲の陰謀を徹底的に粉砕する決意を表明します。

また本総会では、全国組織としての「憲法9条を守る首長の会」の結成も視野に、今後活動を一層強化拡大することとしました。

全国の皆さん、都道府県知事・市区町村長の現職の皆さん、元職の皆さん、この運動に幅広く参加されることを心から訴えます。

2018年3月19日 盛岡市にて

東北6県市町村長九条の会連合

第5回総会出席者

青森県市町村長九条の会

木下 千代治（元大畑町長）

憲法九条を守る秋田県市町村長の会

千田 謙蔵（元横手市長）

憲法九条を守る首長の会

川井 貞一（元白石市長） 鹿野 文永（元鹿島台町長） 森 久一（元山元町長）

松村 行衛（元七ヶ宿町長） 大関 健一（元栗駒町長）

福島県市町村長九条の会

伊藤 寛（元三春町長） 大橋 芳啓（元霊山町長）

山形県首長九条の会

渡部 章（元高畠町長）

（オブザーバー）

地方自治に日本国憲法の理念を活かす岩手県市町村長の会

伊藤 正次（元前沢町長） 遠藤 治夫（元葛巻町長） 内館 勝則（元川井村長）